

平成29年6月27日

## 学校関係者評価報告書

学校法人高村育英会  
国際観光専門学校熱海校  
学校関係者評価委員会

### 平成29年度 学校関係者評価委員

(関係企業等)

植松 司 氏 株式会社ホテルニューアカオ 常勤監査役

井堀謙治 氏 学校法人加藤学園 加藤学園高等学校総合学部長

(卒業生関係)

矢野 健 氏 国際観光株式会社 営業部 (欠席)

(近隣住民代表)

北島鐵修 氏 近隣住民

以上4名

(同席の本学職員)

板垣典明 校長 自己点検・自己評価実施責任者

福田 淳 副校長 教務課長

大木 正 広報課長

平澤尚紀 就職課長

森田賢策 本校顧問

開催日時 平成29年5月31日(水) 14:00~15:40

会場 国際観光専門学校熱海校 203教室

評価委員数 4名

出席評価委員 3名 矢野 健 氏 (欠席)

議案 1 報告事項

①職業実践専門課程認定報告

②平成28年度自己点検・自己評価に関する概要説明

2 平成28年度自己点検・自己評価に対する委員よりの評価

3 その他

ア) 校長挨拶

時候の挨拶。

文部科学大臣より職業実践専門課程に認定を受けたことの報告。

イ) 議 事

報告事項

①広報課よりの報告

別添参照

②教務課よりの報告

別添参照

③就職課よりの報告

別添参照

平成28年度自己点検自己評価についての報告

①教育理念・・・3.6点

○根幹の部分については、ブレはない。枝葉の部分はその年に必要な取り組みに変化させている。

○「働き方を学ぶ学校」「マナー教育の充実した学校」を特色に。

②学校運営・・・3.8点

○特に問題なく運営されている。

③教育活動・・・3.5点

○付帯教育授業についての捉え方の相違で成績が悪くなっています。

特に大学への編入試験の為の取り組みと捉えた為です。

④学修成果・・・3.0点

○特に中退者防止活動に工夫が必要な事態を招いたことが最大の問題点。

⑤学生生活支援・・・3.6点

○学校が運営している学生寮がないために、一般のアパートを斡旋すること位しかできていない状態である。

⑥教育環境・・・3.3点

○夏休み前までに、非常用トイレを準備する予定である。

⑦学生受入れ・・・3.5点

○学則上の定員には達していないので、適切とは言い難いところである。

⑧財務・・・3.7点

○日常経費支出の必要性及び妥当性を考えながらの財政管理に望む姿勢が大切である。

⑨法令等の遵守・・・4.0点

○特に問題点はないと思っている。但し、マイナンバーに係る個人情報の管理に

注意を払いたい。

⑩自己点検、自己評価、第三者評価・・・3.0点

○第三者評価についての取り組みは、未解決の状況である

**委員からの意見・評価**

①教育理念・・・3.6点

○特になし

②学校運営・・・3.8点

○特になし

③教育活動・・・3.5点

○基本的な資質として、「気持ちの良い挨拶」ができる人材を育成すること。

○挨拶運動は、今後も継続していくこと。

○熱海市民との交流の場を広げていくことも大切な教育である。

④学修成果・・・3.0点

○特になし

⑤学生生活支援・・・3.6点

○学校の寮の問題は、その年の学生の状況で変化するので大変難しいと思う。

⑥教育環境・・・3.3点

○2020年の指導要録の改定に伴う教育施設の充実を「小中高」では動き始めている。できるだけ準備対応を行うこと。

⑦学生受入れ・・・3.5点

○学生募集については、6月・7月が大きな山場であって8月・9月は無いものと考えることが重要である。

高校の進路課と打ち合わせをして、独自のガイダンスを作り上げていく努力が必要である。学生募集については、座して待つべきではない。

仕掛ける学生募集体制の取り組みを行うこと。

○保護者が何を望んでいるのかを良く知るべきである。

○沼津のライバル校2校の動向に注意すること。

○ライバルをよく研究することが大切である。

○高校生目線で考え抜いたPR活動を行うことが重要であると思う。

⑧財務・・・3.7点

○特になし

⑨法令等の遵守・・・4.0点

○特になし

⑩自己点検、自己評価、第三者評価・・・3.0点

○特になし

森田顧問・・・○少子化、就職状況の良化、専門職大学新設等、専門学校には逆風が強いところではあるが、今後ますますの「質の担保」が重要になる。委員の皆様から頂く意見から我々は「気づき」をいただいている。今後ますますのお力添えをいただきたい。